

8-4-16 交通・安全専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：10回

(2020年4月、2021年3月は休会)

(2) 自主研究

令和2年度は、『イベント時における交通・安全に関する調査研究』を主テーマに2つのサブテーマを設定し、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向けて実施した。

自主研究はサブテーマ毎にワーキングを設置して進めた（【WG①：2020東京オリンピック・パラリンピックにおける交通・安全に関する取り組み】、【WG②：観光・イベント時の安全・快適な交通の確保に関する研究】）。【WG①】では過去の大規模イベント時における輸送計画、ハード・ソフト施策等の事例、また東京オリンピック・パラリンピックにおける輸送計画、ハード・ソフト施策等の事例、安全面からみた課題等を整理した。【WG②】では主な観光地及びイベント時における交通システム、安全対策、案内誘導等の事例を整理した。

なお、本自主研究テーマは、令和元年度からの継続研究であり、令和2年度は令和元年度の活動成果も含めて最終成果としてとりまとめた。

(3) セミナーの開催

「道路行政が目指す持続可能な社会と政策の方向性」をメインテーマとして開催した。

- a) 開催日：令和3年2月15日（月）
- b) 開催方法：WEB開催（ZOOMによるオンライン開催）
- c) 参加者数：88名
- d) 講演①：国土交通省道路局企画課様より「道路行政が目指す持続可能な社会と政策の方向性について」として講演を頂いた。
- e) 講演②：国土交通省道路局企画課様より「バスタプロジェクト等新たな交通結節点づくりの推進について」として講演を頂いた。

(4) 現地見学会の開催（中止）

自主研究テーマに関連して、「オリパラ関連施設見学」を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により開催を見送った。

(5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとしての関わりなどを議論している。令和2年度における主な内容は以下のとおりである。

- a) 訪日外国人のレンタカー利用の動向
- b) スーパーシティ構想の動向
- c) オープンデータ活用の動向
- d) ニューノーマルに対応した都市政策のあり方等

(6) 外部組織への活動支援等

- a) 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

2. 次年度の活動について

令和3年度は、『（仮称）新型コロナウイルス感染症に対応した交通・安全に関する調査研究』を自主研究のメインテーマとして、政府、民間事業者等の多様な主体における様々な取り組みについて整理し、建設コンサルタントの関わり方について検討する予定である。

また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

（交通・安全専門委員会委員長 福島 賢一）